



大江の風

3月2日
No.148

今年も中央警察署のスクールサポーターの方に講師をお願いしました。薬物は①脳 ②人間らしい心 ③命を奪うものであり、1回手をだしたら一生その恐怖が付きまとうことを教えていただきました。

6年「薬物乱用防止教室」がありました

全国の6年生が必ず勉強する「薬物乱用防止教室」。誰でも勉強する前から「危険な薬物、危険ドラッグはいけないことだ。人間を破壊してしまうものなんだ。絶対にダメなんだ。」とわかっているのに、なぜ、犯罪に手をそめてしまいが、たくさんたくさん出てくるのでしょうか。小学校でも中学校でも高校でも薬物乱用防止の学習をするのに、なぜ10代の若者たちに、広がっているのでしょうか。こわいですね～～。今回は、6年生に自分事として、自分の身に起こったらと考えながら、真剣に勉強してもらいました。「自分に関係ないや」と思っている人、その人こそ、一番危険な人物なのかもしれません。中学校に上がる前の大事な学習、6年生は決して忘れないと思います。



保健室から配信。保健委員会の委員長と副委員長2人で運営してくれました。司会から開閉会の挨拶までありがとうね。

代表で3人が講師の先生にお礼の言葉を言いました。感想を含めこれからの生き方についても述べました。3人息もびったでした。

薬物の標本です。チョコレートやドロップみたいなものもあり、だまされるなと思いました。飲む覚せい剤はお魚の醤油入れに入っていました。こわい！

6年生の男の子が中学生に誘われてシンナー中毒になってしまう再現ドラマ、中2の女の子が街でダイエットや美容にきくよとただでもらった薬から覚せい剤中毒になっていくドラマを見てとてもこわくなりました。本当に身近に起こるかもしれないと思いました。

文科省HPに本校の授業実践が公開されています

学年	小学校第2学年
内容項目	A 主として自分自身に関すること 態度、動機
教材名	どうして、ないてるの (日本文教出版)
教材の概要	理科の教科書と国語の教科書。自由帳の視点で、持ち主である主人公「みっちゃん」に対する思いが描かれている。「みっちゃん」ははじめ、これらの物を大切に使用していたが、途中で雑言をかき捨てる。理科の教科書の「かけるさん」と国語の教科書の「ふみよさん」は、雑言に対しておこっている。しかし自由帳の「みっちゃん」は、捨てたページに満足し、もったいないと笑っている。「かけるさん」はそれを察して、「みっちゃん」はそれはいいかもれないが、ほくは捨てた」と返しながら訴える。立場の違いによって感じ方が違うことを、擬人化された身近な物の気持ちになって考えることで、物の価値を理解した上で、今後の生活を振り返り、物の本来の使い方を守り、物を大切にしていこうとする態度を育てる。
指導のポイント	ICT端末を効果的に活用し、大切にしている持ち物に込められた思いについて語り合いながら、自分との関わりで考えを深める授業

文科省のHPをご覧ください。トップ>教育>小学校、中学校、高等学校>道徳教育の「道徳教育アーカイブ」を開くと、本校2年生の授業が公開されています。「節度・節制」の授業です。私も撮影を後ろで見えていたのですが、子どもたちが自分の考えをどんどん発表し、友達の意見を聞いて考えが広がっていき、とてもよい授業でした。

子どもたちの表情が生き生きとして、素直に本音で語る大江の子どもよさがあらわれていました。全国の先生がこの動画を見て学びます。誇らしいですね。

【変更】学級懇談会について 3月10日(木)に予定しております

学級懇談会は、コロナ感染拡大状況を考慮し、オンラインで開催することにしました。時間も1～3学年14時半から、ひまわり学級15時5分から 4～6年15時40分から 各々30分以内で行います。お子さんのタブレットをご利用ください。(もちろんご自分の端末でもOKです) 懇談の資料・学力テストの結果等は前日までに配布します。最後の懇談会ですので、どうぞ参加していただきますようよろしくお願いいたします。



朝、交通巡回をしていたら白川中の桜が咲いていました。とてもきれいでした。金曜日は中学校の卒業式ですね。おめでたい！！